ぴあ・いろは通信

〇放課後等デイサービス　放課後クラブぴあ
〇児童発達支援　療育ルームいろは

《お問い合わせ》TEL３３－４８６０

夏の暑さがうそのように急に肌寒くなりましたが、ご家族の皆さん、体調はいかがでしょうか？感染症のはやる季節です。インフルエンザの予防接種、食事の前の簡単な手指のアルコール消毒、人混みでのマスクの着用など、予防が大切です。お子さんに伝えるときは、ご家族がモデルを見せる、イラストを描くなど伝え方を工夫するとともに、手洗いうがいなどは、スケジュールに入れて実行しましょう。

１１月行事のご報告

１１月７日（月）～１１月１１日（金）、ぴあいろはではお買い物ごっこをしました。本物のお金で、おもちゃやお菓子を買う体験です。いろはでは、物理的構造化を使って、買い物できる商品の数がわかる仕切りのあるカゴを使いました。イラストや写真が理解できるお子さんには、買い物のやり方を手順書で確認しました。

ぴあでは、商品の金額を見て、持っているお金で買える商品の数を考えたり、合計金額を計算したり、お釣りをもらう体験をしました。

事業所内で体験したことを日ごろの買い物で生かしていただきたいので、保護者にはお子さんの様子や使ったジグなどの説明をさせていただきました。工夫を使って地域で楽しく上手に買い物ができるようになったらいいなと思いました。

職員研修報告③《子どもの支援には成人期までの大きなビジョンが必要》

≪　学齢期前期　≫

・合理的配慮を受けた環境の中で、少しずつ生活場面や体験する内容を広げていき、できること、わかることを増やしていく。
・学校やサービス機関に対しては、子どもの合理的配慮の在り方について発信し、年齢とともに子どもにフィットしたものになるよう、協働しながら改変していく。
・家庭の困りごとについて相談することをあきらめない。

≪　学齢期後期　≫

・できないことをできるようにする支援は減らしていく。
・強み・興味関心を生かして、今できるスキルを生活・仕事などの実際の場面で使えるスキルとして、上達するよう磨き上げ、自立度をあげていくことを求める。
・自分の特徴を知り、適切な自制ができる方法を学ぶなど、支援の方向性を変えていく。
・必要な合理的配慮を求めていくためのコミュニケーション支援をする。
・少しずつ親子の距離を保ち、見守る姿勢を学ぶ。
・より広い場面で、子どもさんが合理的配慮を受けられるように、自ら働きかけていけるように支援する。

★年齢や成長に合わせた支援の改変が必要です！！

ゆいねっとStudy倶楽部

１１月１１日（月）のStudy倶楽部では、『事業所の取り組み報告』についてお伝えしました。ゆいねっと新居浜では、児童発達支援（幼児期）、放課後等デイサービス（学齢期）、生活介護（成人期）、就労継続Ｂ型（成人期）のサービスを行っています。今回は、スライドを見ていただきながら、事業所内で行っている支援とその必要性についてお話しさせていただきました。また、ぴあいろはの事業所の中も見学していただきました。ご本人さんの生活の質が向上し、地域で幸せに暮らすことのできるように、障がい特性に合わせた一貫した支援を今後も提供していきたいと思います。

ゆいねっとStudy倶楽部は、保護者を協働療育者として位置づけ、障がい特性や支援方法について一緒に学び、家庭生活や地域生活に生かしていただきたい思いで実施しています。ぜひ、参加してください。

次回は、12月16日（月）10:00～12:00『性について』（講師：桑原綾子先生）です。

自宅でやってみよう！《そのほかのシステム》

〇そのほかにもたくさんのアイディアがあります。周囲で起こっていること、周囲から期待されていることを理解できるようにするために、視覚的に整理して提示します。

例）写真によるコミュニケーションシステム
文字やイラストによるコミュニケーションシステム
報酬のシステム
お知らせのシステム

〇どのシステムでも重要なことは、何か起こったときに支援者が思いつきで支援を始めるのではなく、普段から計画的に習慣化させて伝えることです。一貫性をもたない支援は、混乱や視覚支援への不審の念を与えると考えてます。

【お知らせ】

★感染症が流行する季節になってきました。ぴあいろはでは、アルコールの消毒やクレベリンの設置、定期的な換気などを実施します。インフルエンザなどの感染症は、就園先や学校と同じように、病院で指定された日までお休みしてください。お休みの連絡は、９：００から１８：００でお願いします。

★ゆいねっと新居浜 HP 内「BLOG」にて、ぴあ･いろはでの活動の様子を更新中です★
ぴあ・いろは入り口にぴあ通信・ブログ原稿を掲示しています。ぜひ、ご覧ください！！
http://yuinet-niihama.com/